

受験生の志望校候補は 非常に“限定的”！

志望校選びの段階で主に 50 校に集中！
「大学受験パスナビ」ユーザーデータ分析

旺文社 教育情報センター 29 年 5 月 29 日

志望校選びをする際、受験生はどの大学の情報を調べているのだろうか。日本最大級の大学受験ポータルサイト「大学受験パスナビ」のユーザーデータから、29 年度入試の受験生の大学選びの傾向を分析した。その結果、受験生が志望校選びの段階で重点的に調べている大学は非常に限定的で、なおかつ東京都の有名私立大等の一部の大学に集中していることが分かった。

◆多くの大学受験生が利用する「大学受験パスナビ」とは

「大学受験パスナビ」とは、受験生が志望校選びをする際に必要な情報を掲載している日本最大級の大学受験用のポータルサイトだ。入試科目等の情報が全大学分、大学ごとに掲載されており、全国の受験生がこれを閲覧する。

パスナビには、会員限定の機能のひとつに「クリップ」がある。気になる大学を「クリップ」すると、その大学の情報をいつでも閲覧できる。さらに、クリップした大学間で難易度や試験科目を比較して、志望校選びの参考にすることもできる。つまり、クリップされた大学（＝志望校候補となりうる大学）の状況を分析すれば、全国の受験生がより重点的に調べている大学の傾向が分かる。

パスナビデータを見る価値は、受験生のその時々における志望校選びの行動が見られる点にある。そのため、本データは入学者数データや志願者数データの分析とも異なる、もつとその前の潜在的な「志望校選びデータ」と言えるだろう。

◆志望校候補となる大学は限定的。私立大は“東京一極集中”が顕著

本記事では、パスナビ会員のうち、高校 1～3 年生と浪人 1・2 年目のユーザーの、28 年 4 月から 29 年 3 月までの 1 年間の大学クリップ状況を分析した。その結果、クリップした大学数の平均は 4.8 校だった。これは、前年度受験生の出願校数の平均 5.2 校*に近い。

次のページに、クリップした人数（以下、クリップ数）の多い大学上位 50 校をまとめた。上位 50 校は志願者数上位校と同様の顔ぶれであり、有名大学が多く並んだ。

*螢雪時代 2016 年 11 月号アンケート結果より

表1 受験生の志望校候補となる大学上位50校

設置	県名	大学名	設置	県名	大学名
国立	北海道	北海道大学	私立	東京都	国士舘大学
国立	宮城県	東北大学	私立	東京都	駒澤大学
国立	茨城県	筑波大学	私立	東京都	芝浦工業大学
国立	埼玉県	埼玉大学	私立	東京都	上智大学
国立	千葉県	千葉大学	私立	東京都	成蹊大学
国立	東京都	東京大学	私立	東京都	成城大学
国立	神奈川県	横浜国立大学	私立	東京都	専修大学
国立	長野県	信州大学	私立	東京都	中央大学
国立	静岡県	静岡大学	私立	東京都	帝京大学
国立	愛知県	名古屋大学	私立	東京都	東海大学
国立	京都府	京都大学	私立	東京都	東京理科大学
国立	大阪府	大阪大学	私立	東京都	東洋大学
国立	兵庫県	神戸大学	私立	東京都	日本大学
国立	岡山県	岡山大学	私立	東京都	法政大学
国立	広島県	広島大学	私立	東京都	武蔵野大学
国立	福岡県	九州大学	私立	東京都	明治大学
公立	東京都	首都大学東京	私立	東京都	明治学院大学
公立	神奈川県	横浜市立大学	私立	東京都	立教大学
公立	大阪府	大阪市立大学	私立	東京都	早稲田大学
私立	埼玉県	獨協大学	私立	神奈川県	神奈川大学
私立	埼玉県	文教大学	私立	京都府	同志社大学
私立	東京都	青山学院大学	私立	京都府	立命館大学
私立	東京都	学習院大学	私立	大阪府	関西大学
私立	東京都	慶應義塾大学	私立	大阪府	近畿大学
私立	東京都	國學院大学	私立	兵庫県	関西学院大学

* 国公私別、都道府県別で北から順に掲載。

図1 クリップ数と大学順位の関係

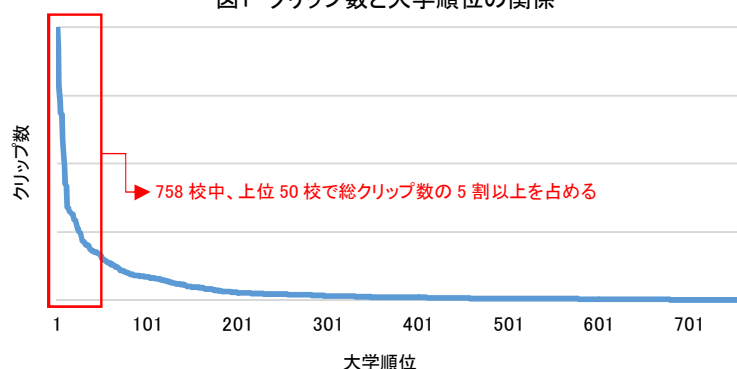
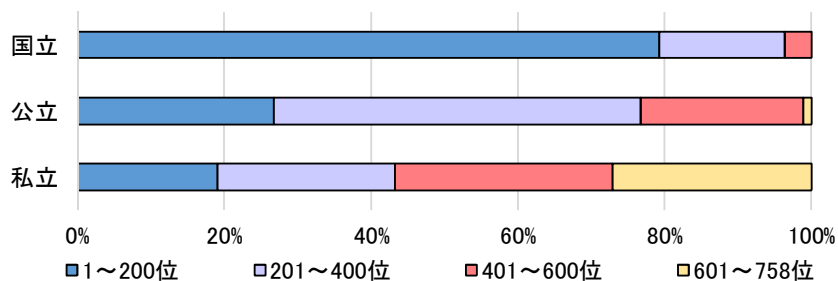


図1にクリップ数と大学の順位の関係を示した。表1のわずか50校で総クリップ数の5割以上を占めており、受験生が主に志望校候補としている大学は、全758校の中でも一部の有名大学に集中していることが分かった。また、50校の半数にあたる25校が東京都の大学で、特に上位10校はすべて東京都の有名私立大だった。この50校の所在地を国公立別にみると、国立大は都市部に限らず全国計16の都道府県に所在していたが、公立大と私立大はそれぞれ3および6の都市部の都府県に限られていた。

なお、クリップ数が最大の大学と比較すると、クリップ数がその100分の1にも満たない大学が全体の約2校に1校存在していた。クリップ数上位校と下位校の差が著しいことが分かる。

図2 国公立別 順位分布

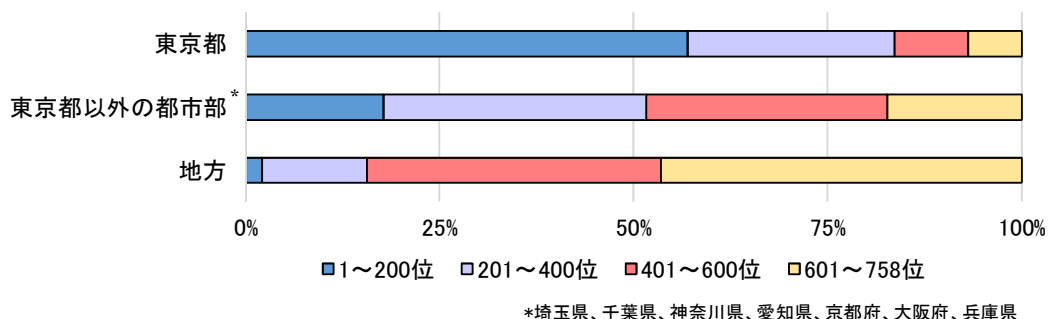


ここからは、全大学の傾向をみていこう。クリップ数が多い順に1~200位、201~400位、401~600位、601~758位だった大学の割合を国公立別に図2に示した。国立大>公立大>私立大の順で、上位にランクインしている大学の割合が高く、特に国立大は全体の8割近くが200位以内だった。クリップ数上位50校の内訳を見ると私立大が31校と最も多かったが、国公立大の全大学数はそれぞれ82校、86校、583校（ほか、大学校7校）と、私立大は母数が大きい。そのため、私立大全体では上位の大学の割合は高くななかった。国公立大それぞれ上位の大学と下位の大学の所在地を比較すると、国立大は地域間の差が少なく、都市部・地方関わらず上位の大学が多かった。一方、公立大・私立大は都市部の大学が上位になる傾向が強かった。

特に私立大に関しては、地域間の差が大きかった。そこで、私立大について、地域別に各順位の大学の割合を示した（図3）。都市部の私立大ほど上位に位置する大学が多く、特に

東京都の私立大は 50%以上が上位 200 位以内だ。一方、地方私立大のうち、上位 200 位以内の大学はわずか 2%。地方私立大の半数近くが 601 位以降だった。私立大では、受験生の“東京一極集中”の傾向が顕著に現れた。

図3 私立大所在地別 順位分布



◆志望校の候補となるためには「まず見てもらう」努力が不可欠

今回の結果から、受験生が主に志望校候補としている大学は志願者数上位校と同様、ごく一部の有名大学であることが分かった。特に、私立大では大学間の差が激しく、“東京一極集中”の傾向が強かった。ここで注目すべきは、全大学のうち、志望校候補に挙げる受験生が少ない大学が多く存在する理由だ。受験生がこれらの大学に対して「悪いイメージを持っている」からかというところではない。そもそも、それらの大学の「イメージを持っていない」からだろう。

これには、スマートフォンでの大学選びがもたらす「大学の限定化」が関係している。スマートフォンでは、気になる大学・学部をピンポイントで検索して調べるケースが多い。この場合、受験生が認識していない大学の情報は、たとえWEB上に存在しても受験生の目に触れることはない。結果、受験生が調べる大学は、よく見聞きする有名大学に限定されていくことになる。この傾向は、これまで主流だったPCでの大学選びよりもスマートフォンの方が顕著に現れる。PCは画面が大きいこともあり、パズナビ等の専用の大学検索機能で自分の求める条件から大学を検索し、結果の一覧から気になる大学を探すことが多かった。この結果の一覧には有名大学以外の大学も多く含まれており、知らない大学を目にする機会はスマートフォンよりも多くなる。ネットでの大学調べの主流がPCからスマートフォンに移行したことで、「大学の限定化」が進んだと思われる。

今回、パズナビ会員がクリップしていた大学の平均 4.8 校は、前年度入試で実際に出願した大学数の平均 5.2 校に近い。このことから、受験生は志望校の情報の多くをネットで調べていることがうかがえる。今後、上記のような「大学の限定化」はますます加速するだろう。

現在、地方創生のための策として、政府の有識者会議では、東京 23 区内で私立大やその学部の新增設を抑制する方向性を示している。しかし、根本的な解決のためには、今ある大学・学部の努力が不可欠である。今後、大学がすべきことは、まずは受験生に自大学の存在を知ってもらうことであり、そのためには、各大学が自大学の魅力を分かりやすく簡潔に表現することがますます必要となるだろう。